

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 慶應義塾高等学校

種 別  保育園・幼稚園       小学校       小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校       中高一貫<sup>※注2</sup>       高等学校  
 教員養成大学       専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む    ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒223-0061 横浜市港北区日吉 4-1-2

E-mail [info@hs.keio.ac.jp](mailto:info@hs.keio.ac.jp)

Website <http://www.hs.keio.ac.jp/>

児童生徒数 男子 2,252 名      女子 0 名      合計 2,125 名

児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「日吉協育モデル」を本校開設 70 周年事業の理念として、ESD を正統と異端（イノベーション）の教育と捉え、ESD の実践を通して独立自尊の人間、そして全社会の先導者の育成を目標とした。

具体的には、グローバルリーダーの育成を柱に、①平和教育に係わる活動、②国際交流の活性化を行った。

### ① 平和教育に係わる活動

今年度も昨年度までと同様に「日吉台地下壕見学会」を行いました。日々勉強する校舎の下に太平洋戦争で実際に使われた地下壕がある。また、特攻隊へ指令がそこからされていたことを生徒は見学を通じ、肌で感じることができます。見学会は年を通してコンスタントに開催し、ホームルームを通じて全校生徒に案内されます。今年度もたくさんの生徒が参加しました。この活動を核とした平和教育活動をさらに広げていく予定です。

## ② 国際交流の活性化

### 1. ユネスコ主催イベントへの生徒・教員の応募

ユネスコスクールの留学や国際交流への生徒・教員の応募は、学校行事や部活と重なり、行ける機会に限られるため、また唯一応募した生徒も選考から漏れたことも重なり、今年度は一人も参加できませんでした。来年度も応募者をさらに増やすためにさらなる努力をしていきます。

### 2. 交換留学プログラム

慶應義塾高等学校は 2018 年に開校 70 周年を迎えるにあたっての 1 つの柱である生徒の異文化理解を深めるための「国際化」に向け、3 つの短期中期の留学プログラム（ザ・ボールズ・スクール、セント・ジョン・ボスコ・ハイスクール、キングスカレッジ）を行っております。

#### • The Bolles School

米国カリフォルニア州ロサンゼルスにある私立男子高校との交換留学でお互いの家庭に約 10 日間ずつホームステイします。ホストブラザーと一緒に通学し、授業・クラブ活動・遠足などに参加します。

#### • St. John Bosco

米国フロリダ州ジャクソンビル市にある私立校との交換留学。ホストファミリーにて 3 週間滞在し、平日は現地高校生と共に授業に参加し、週末はホストファミリーとの時間を一緒に過ごします。

#### • Kings College

今年度は開催せず

また、長期（1 年間）の留学として、ボーディングスクールへの派遣プログラムが慶應義塾主催で行われております。2017 年度は米国の The Taft School、Phillips Academy Andover、Phillips Exeter Academy、英国の Winchester College、Shrewsbury School に慶應義塾全体から数名ずつ生徒を送っております。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 交換留学プログラム)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし
------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)  
※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）